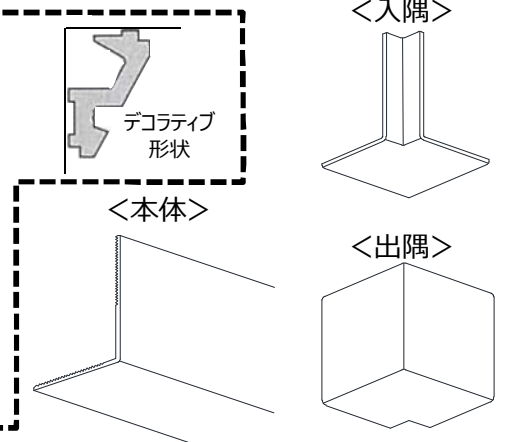


■ 設計・施工時の注意

- 本製品がカバーできる既存廻り縁は、木製廻り縁、シート貼り廻り縁です。それ以外の材質の廻り縁には使用できません。
- **本製品がカバーできる既存廻り縁の形状は、およそ四角形となります。表面凹凸が激しいデコラティブな形状（例：右図）はカバーできません。またカバーできる既存廻り縁サイズは、高さ30～45mm、厚み5～30mmです。**
- 既存廻り縁がシート貼りの場合は、まず、シートに切り込みを入れて基材とシートが密着しているか確かめてください。**次に、シートにはがれやよじれ（しわ）があったり、塗装はがれがある場合はその部分を除去してください。また、既存廻り縁に水濡れ、汚れ、油分、ほこり等がある場合は除去してください。除去しないと接着不良の原因となります。**
- **接着剤やコーキング材は、必ず指定品（弊社カタログ掲載品）をご使用ください。**
- カッターを使用する際は、刃が通る位置に手を置かないでください。カッターが滑り手にけがをするおそれがあります。
- カット後の端面（製品の継ぎ目など）は、サンドペーパー等でバリを取ってください。端面で手にけがをするおそれがあります。
- 製品本体と役物（入隅・出隅）の間、本体と天井面および壁面の間、などに隙間ができる場合は、コーキング処理が必要です。
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。



■ 使用部材 ※右上図参照

- 本体、入隅、出隅
- 両面テープ（巾5mm）、接着剤、コーキング材

■ 必要工具・部材 ※現地調達

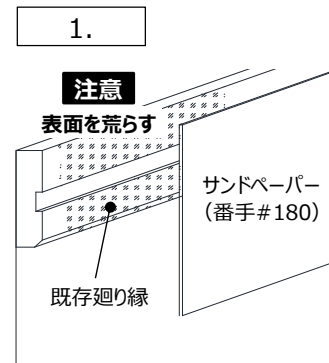
- 【工具】 巻尺、のこぎり、カッター、サンドペーパー（番手#180）、シーリングガン（接着剤塗布用）
- 【部材】 マスキングテープ

■ 施工手順

1. 既存廻り縁の表面を確認する

- シート貼り廻り縁の場合は、白い粉が出るまでサンドペーパー（番手#180）で表面を荒らす。

注意 荒らさないと接着不良の原因となります。
（シート貼り以外の廻り縁の場合は荒らす必要はありません）

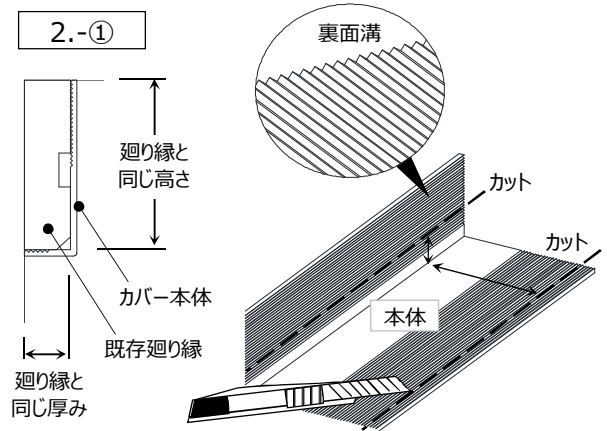


2. 本体のカット →両面テープ貼り →接着剤塗布 →貼り付け

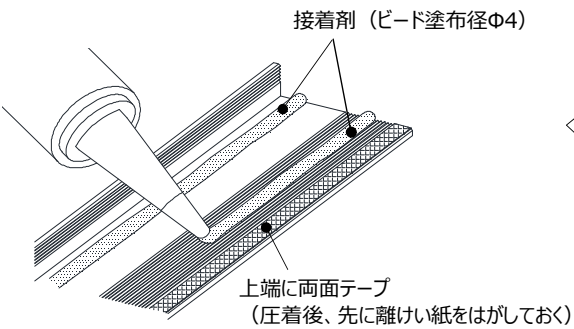
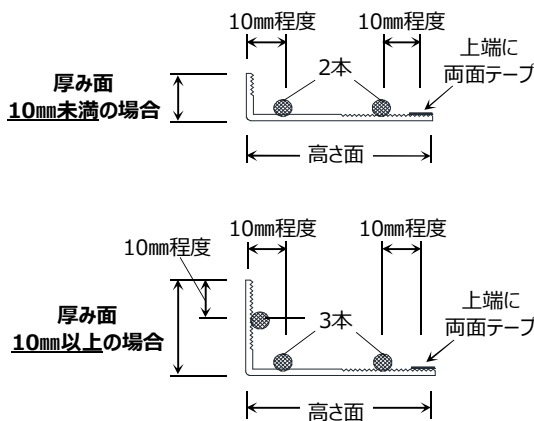
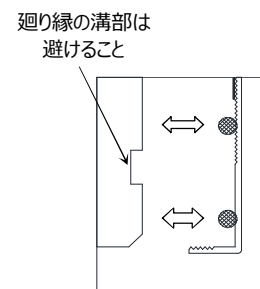
- ① 廻り縁と同じ高さ・厚みになるように、カッターでカットする。
※裏面の1mmピッチ溝に沿って切れ目を3～4回入れてカットする。
- ② 裏面の上端に両面テープをしっかり圧着して貼り、離けい紙をはがす。
- ③ 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径Φ4）

注意 <塗布数>
厚み面10mm未満…高さ面2本
10mm以上…高さ面2本＋厚み面1本

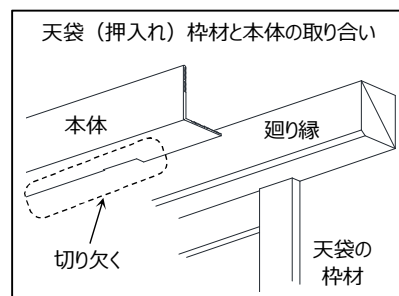
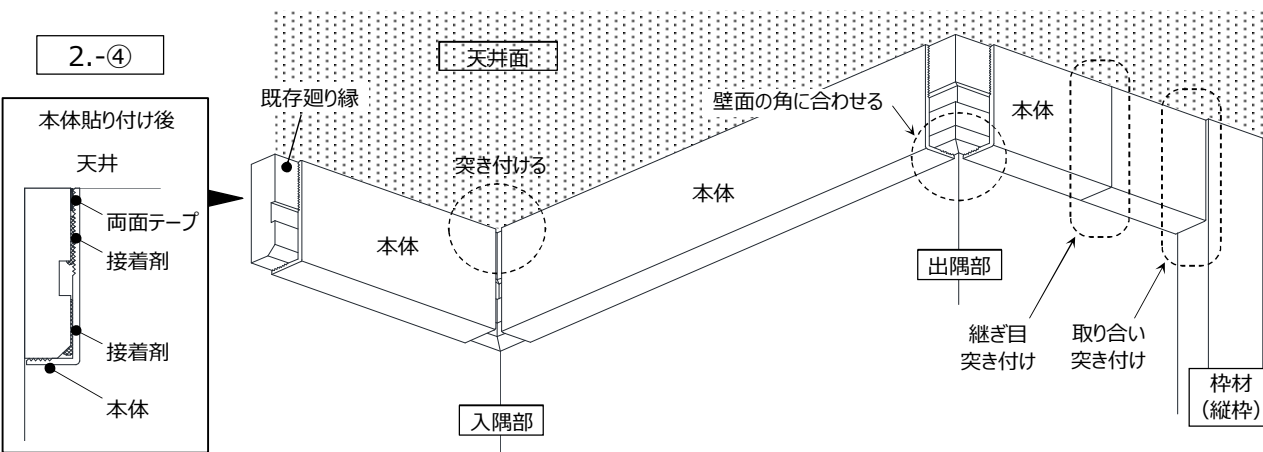
注意 <塗布位置>
廻り縁と本体が接触する箇所をねらって塗布する



2.-②③

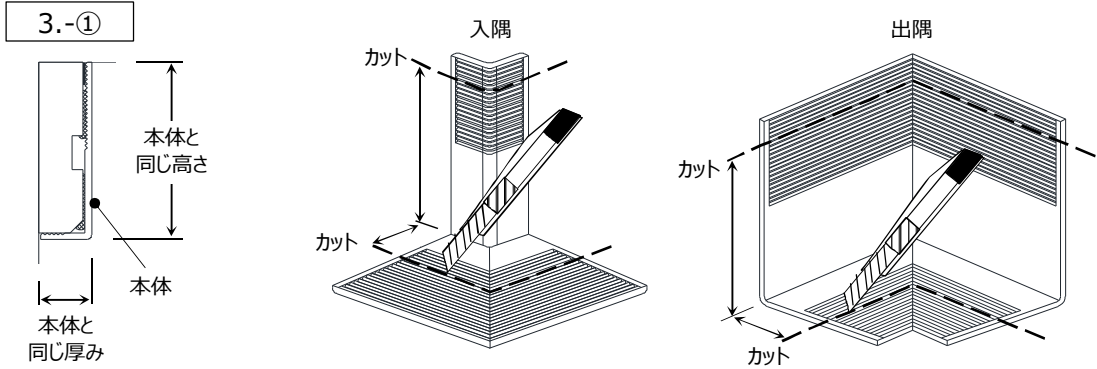
**注意** <接着剤の塗布数>**注意** <接着剤の塗布位置>

- ④ 廻り縁に本体を貼り付ける。
※入隅部は突き付ける。出隅部は壁面の角に合わせる。
※カバーどうしの継ぎ目は突き付ける。
※枠材との取り合いは突き付ける。小口が見える場合はサンドペーパー等で面取りする。
※天袋（押入れ）の枠材との取り合いは、本体を切り欠く。



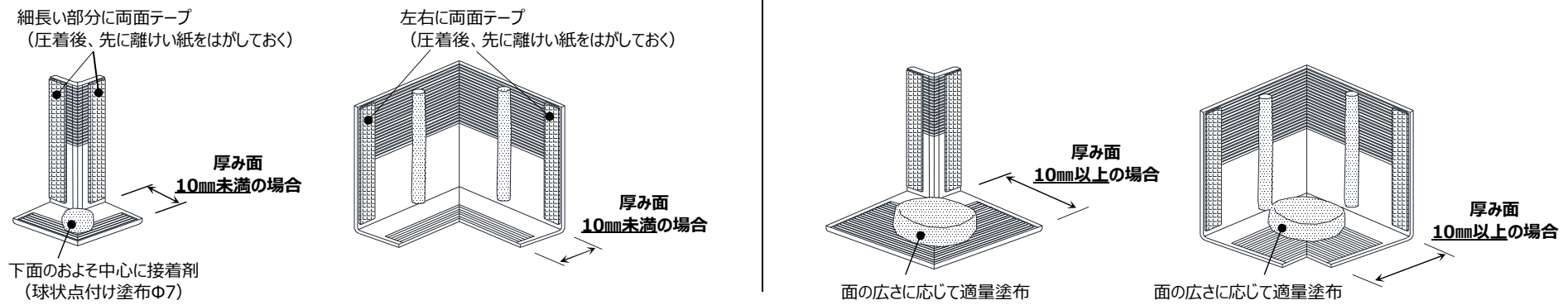
3. 入隅・出隅のカット →両面テープ貼り →接着剤塗布 →貼り付け

- ① 廻り縁に取り付けた本体の寸法に合わせて、入隅・出隅をカットする。
※裏面の1mmピッチ溝に沿って切れ目を入れてカットする。

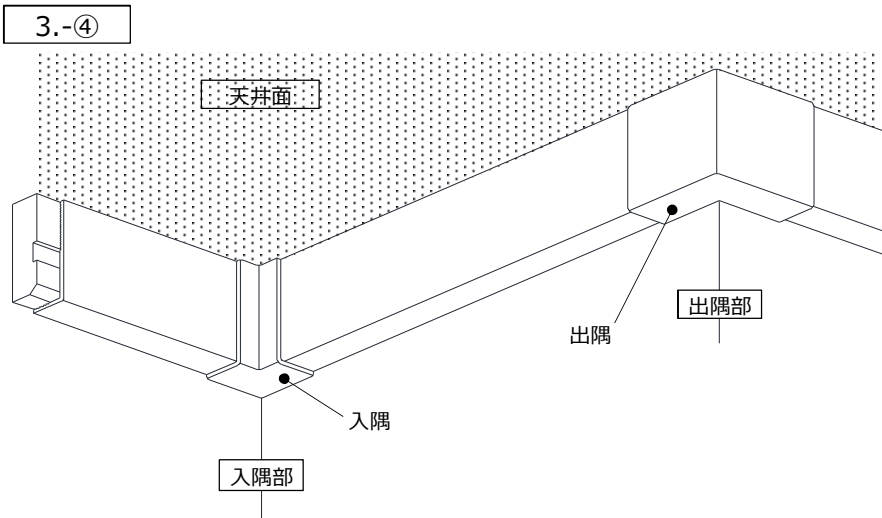


- ② 裏面に両面テープをしっかり圧着して貼り、離れ紙をはがす。
入隅：細長い部分に2本貼付
出隅：左右に2本貼付
- ③ 裏面に接着剤を塗布する。
入隅：厚み面10mm未満…下面のおよそ中心に塗布（球状点付け塗布Φ7）
厚み面10mm以上…下面のおよそ中心に塗布（面の広さに応じて適量塗布）
出隅：厚み面10mm未満…塗布なし
厚み面10mm以上…面の広さに応じて適量塗布

3.-②③



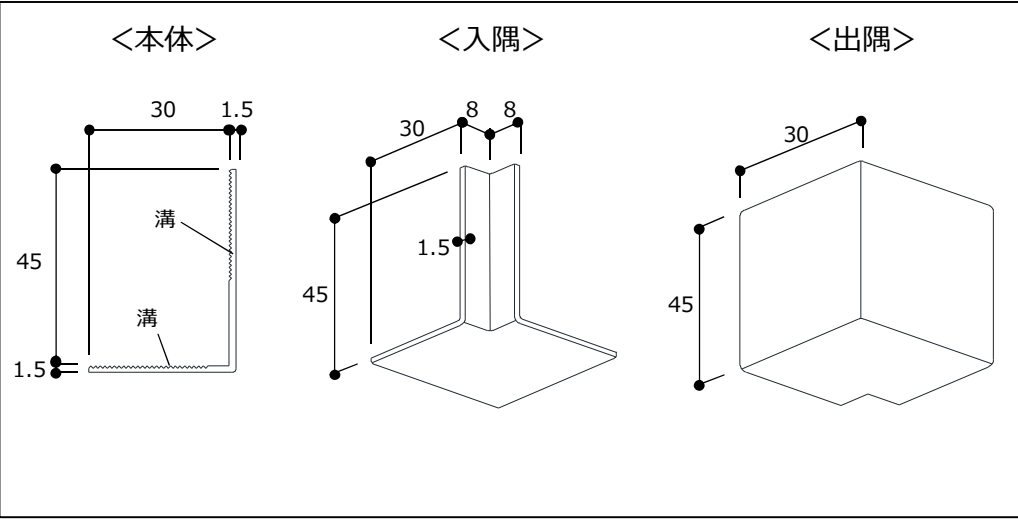
- ④ 入隅部・出隅部に貼り付ける。



4. コーキング処理

- 本体どうしの継ぎ目、本体と役物の間、本体と枠材の取り合い部、本体と天井面や壁面の間、などの隙間が目立つ場合は、コーキング処理する。

●製品図



●参考納まり図

